

## 平成 30 年度 **浜田教育事務所だより** 第 68 号 平成 30 年 5 月 11 日

- ◆ 所長あいさつ (p.1)
- ◆ スタッフ紹介 (pp.2-3)
- ◆ 各市町の取り組み～浜田市・邑南町 (pp.4-6)
- ◆ 学校訪問指導について (p.7)
- ◆ 管内の研究大会・各種指定事業校について (p.8)

### 平成 30 年度のスタートに当たって

#### 所長 上部 証司

4 月 9 日未明に起こった震度 5 強の島根県西部地震で、浜田管内の市町は強い揺れを観測しました。皆さん驚かれ不安な時間を過ごされたと思います。大田市では臨時休業の措置を取り、避難所の開設、被害状況の確認、児童生徒の様子確認等の対応をされて、各校の状況に応じて始業式、入学式が行われスタートを切られました。各校とも大田市教育委員会と連携して素早い対応をしていただき、校長先生をはじめ教職員の皆さんには大変、感謝しております。今後も児童生徒の心のケアや揺れへの対応等引き続きよろしくお祈いします。



平成 30 年度がスタートしてから 1 か月が過ぎました。各学校ともに、校長先生が示された経営の重点に向かって順調に教育活動が展開され、子どもたちが生き生きと活動していることと思います。

浜田教育事務所では、①市町教育委員会の権限強化と力量向上のための支援、②教職員の資質向上のための指導助言、③学校の組織的な取組向上への支援、④市町と連携した「しまねの学力育成推進プラン」の強力な推進を目標として設定しています。今年度は 21 名の転入者を迎える大異動となりました。37 名のスタッフは、「笑顔と元気、感謝の気持ちを大切にしたい風通しのよい職場～相手を笑顔にする、相手に元気を与える～」をモットーに上述の目標達成に向けて日々の業務に取り組んでいます。

島根県鴨木教育長は、管理職辞令交付式・新規採用教員辞令交付式の訓辞、社会教育行政の方針と事業の冊子の冒頭のメッセージ、学校の先生方への教育長メッセージの中で「今や教育には、子どもの成長という元来の目的に加え、地域社会貢献という役割を求められるようになって

います。このような、教育に求められる大きく二つの役割を積極的に担っていかうという考えに立って、島根県教育委員会は、『教育の魅力化』という取り組みを進めています。」と話され、3つの観点から「教育の魅力化」の考え方を述べた後に、「各学校の先生方に、『教育の魅力化』の考え方をご理解いただいた上で、それぞれ市町村や学校の状況を踏まえ、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。」と話されています。各学校では、これらの趣旨を十分共有していただき、各校の重点課題等の解決に向かって、学校・家庭・地域の連携の中で、地域に開かれた学校として全教職員で日々の教育活動を展開していただきたいと思っています。

さて、本年度から新小学校学習指導要領、新中学校学習指導要領が移行期間に入りました。小学校は平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日、中学校は平成 30 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの間となっています。移行期間中の学習指導については、小学校特例告示及び中学校特例告示に示す総則及び各教科等の指導内容をご確認いただき、指導内容の欠落や重複がないようお願いいたします。総則については、小学校及び中学校いずれにおいても新学習指導要領の規定によることとなります(小学校の一部を除いて)。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善やカリキュラム・マネジメントなどについて、新学習指導要領の趣旨の実現に努めていただくようお願いいたします。島根県教育委員会から小学校・中学校教育課程の編成・実施の手引き-Q&A-移行措置編が出ていますので参考にしてください。浜田教育事務所でも全小・中学校教頭先生を対象にした総則の説明会、小学校教員を対象とした各教科等の新学習指導要領の周知の研修会、全中学校への総則及び特別の教科道徳についての説明の学校訪問を実施します。

2 点お願いしましたが、浜田教育事務所も市町教育委員会や各学校との連携・協力・支援を通して「第 2 期しまね教育ビジョン 21」が基本理念とする「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」に向かって進んでいきます。どうぞよろしくお祈いします。

## 平成30年度 浜田教育事務所スタッフと主な事務分掌

- ◆ 氏名の下（57\*\*）は浜田合庁勤務スタッフの電話番号です。（0855-29-）に続けてダイヤルしてください。
- ◆ 市町派遣スタッフは各市町教育委員会勤務です。

### 【浜田合庁勤務スタッフ】



**【所長】** 上部証司  
★総括  
(5700)



**【調整監】** 笠井 修  
★人事・任用・服務  
(5701)



**【社会教育スタッフ】**  
久佐 日佐志 竹中律子  
(5709) (5712)  
★社会教育，生涯学習  
★ふるさと教育の推進  
★人権・同和教育の推進



**【総務課・教職員互助会浜田支局】**  
内藤嘉子 柴村 勉 庄司奈津子  
(5703) (5711) (5704)  
奥村陽香 伊藤知数 野崎麻友  
(5702) (5703) (5705)  
★給与・手当に関すること  
★旅費に関すること



**【学校教育スタッフ】**  
山本康治 三島 浩 佐々本茂 土江庸介  
(5708) (5706) (5706) (5706)  
金谷直美 河村恭子 土井伸一 小寺正登  
(5790) (5707) (5707) (5753)

## 【各市町派遣スタッフ】



### 【浜田市派遣スタッフ】

前原靖子 鶴原芳子 三浦洋子  
鹽谷 覚 小川 豊



### 【大田市派遣スタッフ】

山崎 勲 岩谷和樹 福本修司  
和田美佐 浄西昭憲



### 【江津市派遣スタッフ】

岡田和明 石井亜紀 春木二美



### 【美郷町・川本町・邑南町派遣スタッフ】

田中 淳 三宅誠幸 南口周哉  
(川本町) (邑南町) (美郷町)  
佐々木 努 藤住 亨  
(川本町) (美郷町)

## 浜田教育事務所の目標

- ・市町教育委員会の権限強化と力量向上のための支援
- ・教職員の資質向上のための指導助言
- ・学校の組織的な取組（学校力）の向上への支援
- ・市町と連携した「しまねの学力育成推進プラン」の強力な推進

今年度もスタッフ一同、力と心を尽くしてサポートさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。



## 各市町の取組から ～浜田市・邑南町～

### 派遣社会教育主事の職務

浜田市教育委員会 派遣社会教育主事 小川 豊

この4月から、浜田市教育委員会生涯学習課で派遣社会教育主事として勤務しています。派遣社会教育主事には、大きく三つの職務があります。

一つ目は、「学校・家庭・地域が連携した子どもの教育に関わる環境づくりの推進」です。浜田市では、『はまだっ子共育プロジェクト』の推進がこれに当たります。地域ぐるみで子どもを育み、子どもも地域（大人）も共に高まり合おうという機運が高まりつつあります。

二つ目は、「島根の地域の特性を生かしたふるさと教育の推進」です。浜田市では、“郷”の字を用いた『ふるさと郷育』を推進しています。特色ある取組として、海をテーマとした『Hamada マリン郷育』、浜田の偉人伝を教材化した『浜田市人物読本ふるさとの50人』、さらに『自然体験活動推進事業』などがあげられます。ふるさと郷育は、ふるさと浜田への愛着や誇りを醸成しています。

三つ目は、「地域づくりを担う人づくりの推進」です。浜田市教育委員会では、『公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業』により、公民館活動の充実や公民館機能の強化を図るための支援を行っています。地域の課題解決に向けた、学習や実践活動の取組が各地で始まっています。

学校が、社会に開かれた教育課程の実現に向けて動き出した昨今、派遣社会教育主事には本来の職務を全うすることはもちろん、これまで以上に学校との関わりを強く持つ必要があります。教育の魅力化は、魅力ある学校づくり、魅力ある地域づくり、そして魅力ある人づくりにあると思います。この教育の魅力化に向かうプロセスには、学校と社会教育と関わりが必須であります。

予測不能な未来に向けて持続可能な教育の在り方や地域づくりが今日的課題として注目される中、学校で積み重ねてきた経験値を活かしながら、派遣社会教育主事として一歩ずつ前向きに歩んで行きたいと自らに念じています。



平成30年7月28日（土）

「はまだっ子共育フォーラム」でお会いしましょう！

浜田市教育委員会 派遣社会教育主事 三浦洋子

「はまだっ子共育プロジェクト」は今年で3年目を迎えました。「地域ぐるみで子どもを育み、子どもも地域(大人)も高まり合おう」を理念に、9つの中学校区エリアにおいて、公民館を核に推進しています。それぞれのエリアで、学校支援やふるさと教育、放課後支援、家庭教育支援に多くの方々に関わりながら、子ども達の学びや成長を支える取組が行われています。

新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、社会と連携・協働しながら未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む『社会に開かれた教育課程』の実現が示されています。共育プロジェクトでは、今年度の取組の一つとして、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と地域がより連携・協働を進めていくために「はまだっ子共育フォーラム」を開催いたします。フォーラムでは子どもの育ちにかかわる教職員、保護者、地域の関係者等が一堂に会し、「次代を担う子ども達の人間形成において求められているもの」、「子どもの育ちを支える大人が担うべき役割」を主体的・対話的で深い学びを通して学校と地域が共有し、実践にいかしていく機会になればと考えております。

より多くの学校関係者の皆様、地域住民の皆様がフォーラムに参加していただき、地域全体で子ども達の学びや成長を支えていく気運が高まるような一日となることを願っております。



## 一人一人の幸せに向けて

浜田市教育委員会 派遣指導主事 鶴原芳子

浜田市派遣指導主事3年目になりました。学校教育課児童生徒支援室で特別支援教育を担当しています。今年度も先生方や関係機関の方々とながりながら、特別支援教育の推進と充実に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

さて、今年度の主な取組を紹介しします。①「相談支援チームの訪問」：今年度から相談支援チームに福祉部局担当者と幼児担当指導主事が増員となりました。特別な支援を必要とする子どもの早期発見・早期支援に努め、相談支援体制の充実を図ります。ぜひ、校内委員会で検討していただき、各学校等のニーズに応じて活用していただきたいと思ひます。②「教育支援委員会に関すること」：各学校等訪問、保護者面談、教育支援委員会を行います。各学校等と連携し、本人や保護者の思いに寄り添いながら丁寧な教育相談、就学相談に心がけていきたいと思ひます。③「特別支援教育に関する研修会」：特別支援教育コーディネーター研修会や教育課程研修会等の他に、ひらがな読みに困難さのある子どもへの早期支援と日々の授業づくりの充実に向けた研修会を5月と7月の2回実施しします。また、特別支援教育に関する近隣での研修会の情報提供も行います。興味・関心のある先生方のたくさんのご参加をお待ちしています。④「相談支援ファイル活用の推進」：今年度、新たに幼児用の個別の教育支援計画と個別の指導計画の様式を作成しました。また、個別の教育支援計画に合理的配慮を明記する様式を追加しました。ぜひ、参考にして作成をお願いしたいと思ひます。⑤「浜田教育事務所と連携した学校訪問等」：研究授業や各学校の相談等について、浜田教育事務所の特別支援教育担当指導主事と連携して取り組みます。



最後に、平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されて2年が経ちました。一人一人の笑顔の思い浮かべながら、一人一人の幸せに向けて…共生社会の形成に向けて…先生方や関係機関の方々と一緒に考えながら一歩一歩進めていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。

## みんなで一緒に！

浜田市教育委員会 派遣指導主事 前原靖子

浜田市教育委員会「学力向上推進室」勤務になり2年目を迎えました。1年目よりも、現場で日々がんばっておられる先生方のお役に立てるよう、笑顔で精一杯取り組みたいと思ひます。

さて、浜田市では学力向上総合対策事業として、今年度も①家庭学習の充実、②教員の授業力向上、③図書館活用教育の推進を中心に進めていきます。各校では、新学習指導要領を見据え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、同時に教科横断的な学習や探求的な学習を模索しておられるところだと思ひます。浜田市において2校ずつ研究指定をしている「**協調学習**」、「**算数・数学**」、「**図書館活用教育**」はどれも、主体的・対話的で深い学びにつながるものだと確信しています。また優秀な学校司書の方々とタッグを組み、「図書館活用教育」を進めていくことで、教科横断的な学習や探求的な学習が進み、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を高めることにつながると思ひます。指定校はそれぞれ年に2回の公開授業を予定しています。



他にも、**スーパーティーチャーによる示範授業**や、**コアティーチャーの福井市教育視察報告会**など、さまざまな事業がありますが、各校や先生方の実態・ニーズに合ったものを選んで公開授業や研修会等に参加していただき、さらなる授業改善をみんなで進めていけたらと思ひます。

また、小学校の外国語活動については、全ての学校を訪問させていただく予定です。多くの先生方が不安を抱えたままのスタートだと思ひます。全面実施までの2年をかけて、みんなで力をつけていくことが必要だと考えています。先生方には、あまりガチガチにならずに、ぜひ子どもたちと一緒に楽しんで授業をしていただきたいと思ひます。サポーターや学校司書の方々も大きな力になってくださるはずで、市教委としても研修の機会等を通じてバックアップしていきます。

ところで、昨年市教委に入った私は、多くの事業を理解するのにとても時間がかかりました。現場の先生方にはなおさらわかりにくいと感じています。そこで、少しでも市教委や各校の取組について知っていただきたく、今年度も「**学力向上推進室だより**」を出します。何か不明な点や、興味を持たれたことがありましたら、いつでも連絡をください。先生方のお力になれるよう、全力を尽くしたいと思ひます。今年度もどうかよろしくお願ひします。



## 目線を合わせて

浜田市教育委員会 派遣指導主事 塩谷 寛

浜田市派遣指導主事の塩谷（えんや）です。今年度より浜田市教育委員会で勤務することとなり、生徒指導を中心に担当することになりました。これまでの学校現場での経験を生かし、目線と目標を合わせながら実際の現場において必要とされる支援を進めていきたいと思ひます。そのためにも、まずは、各学校の関係する担当の先生との連携に努めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

本年度はスクールカウンセラー（SC）が全校配置となりましたが、浜田市ではスクールソーシャルワーカー（SSW）の3名の方にも継続してお世話になることになっています。一部、昨年度までと運用方法が変わりましたが、1学期にはすべての学校を訪問し、様子を伺わせてください。より効果的な活用ができるよう、情報交換もしたいと思ひます。またアンケート Q-U による集団づくりにあたっては、今年度も浜田市は小学校1年生から中学校3年生までの全児童生徒を実施対象としています。ぜひ、有効に活用してください。

さて、浜田市教育委員会には平成26年に制定された、「いじめ根絶の誓ひ」が掲げられています。その中には、「私たちは『自分がされたり、言われたりして嫌なことは、絶対に他人にはしない、言わない』」という文言があります。お気づきのことと思ひますが、市内小中学校に配布して、教室に掲示をお願いしているステッカーにある文言です。各学校においても「いじめ防止基本方針」に基づき、誰もが安心して過ごせる学校・学級づくりを目指しておられることと思ひます。

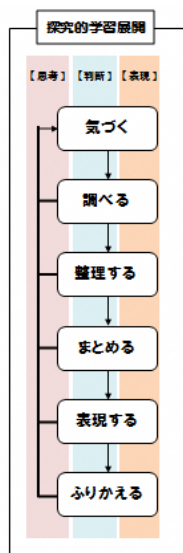
一般、県の指導主事会においても積極的な生徒指導の推進についての話や、いじめの認知についての情報の共有がありました。いじめを漏れなく組織で認知することで適切な対応が可能になること。また、各学校での工夫とすべての教職員の意識が重要であることが確認されました。

こうした組織づくりをはじめ、様々な面で現場の先生方、そして社会を支える多くの諸機関の方々と協力しながら、これからの担う子どもたちのためにできることを一緒に考えてきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



## 地域全体で子どもを支えるおおなんの学び

邑南町教育委員会 派遣指導主事 三宅誠幸

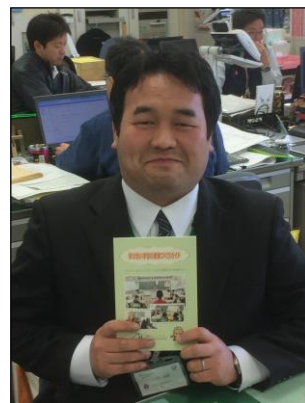


邑南町では平成28年度から2年間、県事業の「みんなのまちづくりプロジェクト事業」を受けました。みんなのまちづくりプロジェクト事業とは「児童生徒が身近な地域を素材とし、学ぶことの意義や学びと社会のつながりを実感できる」事業です。平成28年度は石見中校区の4校（石見中、日貫小、矢上小、石見東小）を推進校区に指定し、平成29年度は瑞穂中校区の4校（瑞穂中、高原小、瑞穂小、市木小）も推進校区に加えしました。

左図のような探究的学習展開を意識し、地域を素材とする中で、多くの方々が児童生徒の学びに関わってくださっています。地域と子どもをつないでくださった公民館職員、地域コーディネーター、地域について説明してくださった町内職員、整理やまとめの場面で協力してくださった図書館司書・学校司書、子どもに新たな気づきをくださった地域住民の方々など数え切れないほどです。

また、先生方は地域の方と子どもをつなぐだけでなく、教科の学びと地域社会をつなぐことも意識しておられました。6年生の授業では「今、地域について学習している事は国語の町の幸福論の内容とも関連しとるだろ」「今日地域の方と学習したことは理科の生きものの学習と関係があったよね」といった言葉がけをしておられ、子どもたちは「そっかー、習った事が邑南町でもあるんだ」というつぶやきもあり、教科の学びと社会とのつながりについて子どもたちが実感した瞬間を目にする事ができました。子どもたちに関わる全ての方々に支えられて子どもの学びが深い学びにつながっている事を実感した瞬間でした。

平成30年度は日貫小が国事業の「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」を阿須那小が県事業の「複式教育推進指定校事業」を受けます。子どもの深い学びにつながるために関わらせていただくと思ひています。





## 管内の研究大会・各種研究指定校について

学校教育スタッフ 企画幹 土井伸一

今年度、浜田教育事務所管内では、次のような指定事業・研究発表会が計画されています。それぞれの学校での実践が、管内の教育の充実につながっていくことを期待しています。



### 【算数授業改善推進校事業（平成 30 年度）】

- 事業の内容
  - ・ 推進校は算数授業改善方針「子どもの声でつくる算数授業づくり」を校内で共有し、実践する。
  - ・ 推進校は実践研究や授業等を通じた教員の資質向上を図る。
  - ・ 推進校は授業や授業研究等の公開を通じた推進校の取組及び成果の普及を図る。
- 浜田管内の推進校 浜田市立周布小学校、江津市立津宮小学校
- 授業研究の視点
  - ・ 児童が主体的に学習に取り組むための工夫について
  - ・ 児童がお互いの考えを深めるための工夫について
- 公開授業
  - ・ 年 3 回行い、すべてを管内の学校を対象に公開する。

### 【複式教育推進指定校事業（平成 30 年度）】

- 事業の内容
  - ・ 複式学級における学年別指導について研究する。
  - ・ 教科は、国語、算数、理科、社会のうちから選択する。
  - ・ 複数の教科及び学級を対象としてもよい。
- 浜田管内の推進指定校 邑南町立阿須那小学校（算数科学年別指導の研究）
- 公開授業
  - ・ 年 1 回以上、県内の学校に授業を公開する。

### 【人権教育研究指定校事業（平成 30・31 年度）】

- 事業の内容
  - ・ 人権意識を培うための学校教育の在り方について、教育委員会等との連携・協力の下で幅広い視点から実践的な研究を実施する。
- 浜田管内の研究指定校 浜田市立第三中学校
- 発表会
  - ・ 最終年度に研究成果の発表会をもつ。

### 【学校図書館活用教育研究事業（平成 30 年度）】

- 事業の内容
  - ・ 学校図書館を活用した授業実践に関する研究を行う研究校を指定し、その普及を図る。
- 浜田管内の研究校 江津市立江津東小学校、江津市立渡津小学校
- 公開授業
  - ・ 年に 2 回以上、教科等横断的なカリキュラムに基づく公開授業を実施する。

### 【第 31 回中国地区国語教育研究大会（島根大会）】

- 期日 平成 30 年 11 月 30 日（金）
- 会場 浜田市立国府小学校、浜田市立浜田東中学校
- 公開授業・授業分科会
  - ・ 国府小学校会場 7 授業 5 学級（国府小学校）・2 学級（雲城小学校 持ち込み）
  - ・ 浜田東中学校会場 3 授業 2 学級（浜田東中学校）・1 学級（金城中学校 持ち込み）
- 提案分科会 8 分科会

## 変更のお願い

平成 30 年 3 月 19 日発行「浜田教育事務所だより 第 67 号」の P.10 にて「平成 30 年度研修等予定 (H30.3.9 現在,抜粋)」を掲載しましたが、日にちに変更がありましたのでお知らせします。

### ●全国学力・学習状況調査結果説明会

変更前 10 月 5 日（金） → → → → **変更後 10 月 1 日（月）**